

第10 配偶者暴力事案の特征的傾向

1 配偶者暴力事案対応状況

(1) 現状

過去5年における長野県の配偶者暴力事案対応件数は、図表54のとおりで、平成30年までは、1,000件を超えたが、令和元年からは1,000件を割り、令和3年における対応件数は845件（前年比-130件）と減少したものの、依然として高水準で推移している。

(2) 対応状況

令和3年中は、

- 加害者に対する指導警告714件（前年比-59件）
- 保護命令の発令対応7件（前年比-6件）
- 傷害等の刑罰法令での検挙56件（前年比-14件）
- 保護命令違反による検挙0件（前年比-1件）

等の対応を行っている。

（図表54） 配偶者暴力事案対応状況（過去5年）

区分	年				
	H29	H30	R1	R2	R3
対応件数	1,028	1,027	984	975	845
加害者指導	760	815	804	773	714
保護命令	12	19	14	13	7
事件検挙	88	177	100	70	56
保護命令違反	2	0	0	1	0

※暫定値

2 配偶者暴力事案の傾向

(1) 被害者の性別

被害者の性別は、

- 女性648人（76.7%）、男性197人（23.3%）

であり、女性の被害が圧倒的に多い。

(2) 被害者と加害者の関係

被害者と加害者の関係は、図表55のとおり、

- 婚姻関係678件（80.2%）、内縁関係44件（5.2%）、
同棲関係89件（10.5%）

等である。

(図表 55) 被害者と加害者の関係 (令和 3 年)

区 分	件 数	占有率
婚 姻 関 係	678	80.2%
婚 姻 関 係 解 消	18	2.1%
内 縁 関 係	44	5.2%
内 縁 関 係 解 消	4	0.5%
同 棲 関 係	89	10.5%
同 棲 関 係 解 消	12	1.4%
合 計	845	—

※暫定値